（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）
昭和十年十一月十九日〔日刊〕 新いわき 〔火曜日〕 第一千六百二十四
十一月十八日 夕刊

日刊 但日曜祭日翌日休
一ヶ月二十五錢 郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 一行拾錢 特約
發行兼印刷人 平谷政次
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

籾摺業の許可願

石城郡で二百名

四萬四千二百圓の賃收入に 殺到する意外な旺盛

動力利用籾摺業者が許可制となつた縣穀檢平支所管内の出願は來る二十日の締切に對して既に百七十三名に達し期日までには二百名を超えるものと見られてゐるが斯の如く旺盛な當業希望者に對し石城郡一圓で何れだけの營業實數量があるかと云へば平年收穫米十七万石の俵換算四十二萬五千俵は各郡に唱ふる八〇％として三十四萬俵（土摺臼は精々二割）この籾摺料一俵に付十三錢として四萬四千二百圓の賃金に達し當業二百の平均收入二百二十一圓に當り而して縣が斯業を許可制とせる確實なる動力稅收入は（五馬力未滿三圓七馬力以上七圓）二千人（縣下に於て）の當業を見込んでゐるので歳入財源の乏しい折柄若干の霑ひを得られる譯であるが平穀檢支所管内に於て市場に現はれる票箋出荷は十萬俵位かと云はれてゐる因に既に出願しをる各町村の當業者數を上ぐれば左記の如くである

平支所平五　飯野一三　高久五　豊間一　江名二　鹿島一三　玉川一　磐崎七　湯本二　内郷三　好間一六　赤井二　神谷七　草野一三　上小川一　下小川一　泉五　渡邊七　平窪三　三坂五　澤渡二　計一一六

四倉出張所四倉七　大野一〇　大浦一六　計三三

勿來出張所勿來五　植田七　山田六　川部二　上遠野三　入遠野一　計二四

全く悲慘な災害

上遠野村深山田

去十六日關内縣議等の視察 砂防工事に補助の陳情

去る十月廿七日夜の大雨に於て石城郡では殊に田手方郡を京されてゐるが就中悲慘なものは上遠野村の深山田で慘狀全く目を當てられず前年に續く冷害の惱め疲弊の極に陷つてゐる部民の力では復舊容易でなく災害を再びせざる砂防工事の如きは縣の力によらざれば不可能とされ其の窮狀を訴へてゐる同地の慘を去る十六日關内縣議等の視察あつた深山田部落は鮫川に注ぐ小澤に添え今回の如き慘害を大正十一年二月の大洪水以來同十五年の災害に合せて三回に及び復舊に疲れた實情を察せられ過般の被害は家屋の流失破壞十二戸、水害死者二名、堤防二十三ヶ所を破壞されて耕地浸水五町歩、山林崩壞二十五ヶ所、用水堀十數ヶ所の欠潰を算し從來の川筋に高九尺前後の土砂を埋むるもの二百間に及べる等々見るものをして救急の要を肯かしめられてると

石城藥業界受難の年か

斯度は幹部一名の負傷

貸切で山野邊、小野兩氏

石城郡藥劑師會の平町山野邊東次郎同藥業協會の同町小野勇兩幹部が去る十六日豫ねて委員に擧げられてゐた本縣衛生課中田技師の退職記念品贈呈資金募集のため平町鈴木自動車部の貸切を驅り巡轉手上遠野廣（三五）の操縱で郡内關係者を訪ね四倉町から片濱通りを江名町に向ふ午前十時半頃豊間村回春園に近いカーブに於て前方から疾驅し來たる漁具滿載の豊間村遠藤藤之丞方トラックと正面衝突をなし機關部を大破して跳ね上つた貸切車内の山野邊氏は右腕及び右足の外頭部を打撲傷し小野氏は右足と肋骨を強打治療中である運轉手は幸に輕傷トラック側は車台の前方を少破損せるに止まつたが當日は同郡業界の首腦鈴木邦三郎氏が鐵道で遭難死せる廿一日に恰度せるため藥業界受難の年かと氣にやんでゐる

小名濱で鰯の大漁

石城郡小名濱町では同地方漁船が一週間程前から宮城縣鹽釜方面に出漁何れも鰯大漁を續けてゐるので字榮町の魚市場から荷馬車で運搬する雜沓が日没から夜半の十二時頃まで絶えぬため同所駐在巡査は交通整理に大骨である由

健康デーの劍道大會

平町役場と平署が後援せる健康週間劍道大會は昨十七日午前九時から平署の演武場に開催劍士五十六名の出場に勇ましい試合あつたが優勝者は磐中伊達賴弘（初段）段外磐中遠藤正壽（一級）でその他の成績左の如くである

有段者　1磐中伊達賴弘（初段）2内郷村岡谷兼廣（二段）3磐中菊地正（初段）4好間山田管雄（三段格）

段外者　1磐中遠藤正壽　2平商業磐崎久次郎　3同富田郁郎　4同長瀬泰輔　5磐中中川信一（以上）

村長選擧の紛糾で流れた橋を忘れる

藤原川に架かる玉川の島橋

石城郡玉川村の島橋は去る十月廿七日の水害で半流失に遭ひ延長約二十三間の同橋は村内樞要の交通に架されて居り村當局は縣補助申請の手續を取り直ちに復舊の途を講ずべき筈を村長選擧のごた〳〵等に紛れ右申請を忘れてゐた爲め補助に入らず今更狼狽してゐるが車馬交通可能の應急修理にも三百圓を要し本工事には二千五百圓の工費が要るので部民から非難されてゐる

研究發表と座談會

石城郡神谷村の縣農試分場で來る三十日午前九時から同場講義室に於て果樹蔬菜の座談會を開催郡下各町村の技術員その他の出席に左の如き研究一部の發表と實地指導を兼ねて懇談をなすと

果樹に關する事項齋藤分場長▲蔬菜に關する事項矢ケ崎同場技手▲剪定實地指導温床踏込實地指導　座談會

兒童の籠球競技

石城郡下第二區第一部湯本方面の小學兒童籠球競技會は昨十七日入山小學校で開催の筈であつたが雨天のため二十二日に延期した

三棟の所有家屋を四棟の保存登記

巧みな文書僞造の詐欺手段

被害高一萬數千圓

平町の字仲町八大工職增尾甚一郎（四五）は文書僞造詐欺事件のため此程來平署の取調中であるが其の内容は頗る錯綜したもので同地内に建つ同人所有の家屋三棟を四棟あるが如く保存登記を行ひ敗地主沖野から内一棟を擔保として三千圓を借受け又二棟を擔保として字大町藤井一氏から六千圓殘る一棟を擔保に平庶民金庫から千百五十圓の融通を何れも一番抵當で以て受けてゐるが沖野の分は既に他に賣却され居り藤井の二棟は事實一棟である上に平庶民金庫の分にも實質上缺陷あるもの〻如く尚ほ增尾は家屋建築に伴ふ屋根屋、左官、畳屋その他にも不正あるものと睨まれ其の被害額一萬數千圓に上るものと云はれてゐる

癲病の話【三】

大森勇

妙さんは東京に生長ちて、父母貧しからず、家計豊かなるに任せて、露を薄の頭シンに何ぞと問ひし頃は蝶と愛られ風を縮緬の振袖に厭ひし頃は花といつくしまれ、買つて貰ふ羽子板と共に春丈段々と大きうなつたが、十四の秋父様闘らず卒れ給ひて後は、自然と乖れ籠り勝ちに日を過した十八の年母様も亦老の病危くなり給ひ、我亡後は此れを見て一生の身の程を知れと、黑塗の小箱を與へられし儘の往生。葬式を濟して開けて見れば一通の書置。噫其の時の心持今思ひ出しても慄然とする氣も暗くなり目も暗くなり、玉の緒絶え果てん許りであつたが、それからは斷然憂欝になつてしまつて、花が咲いても鳥が歌つても面白からず、咬々と澄む月に對つても溜り水の我には影淸く宿らず、陰々滅々と生ける屍の如くその日〳〵を送つた（妙さんは癲病の血統である事を知つたのだ）或日の事某局長とか云ふ人案内を乞ふて、唐突の參上失禮乍ら、當家の御主人（妙さん）孝心のいぢらしく、母親の墓の命日怠る事なく、母親の墓の前にうづくまりて涙は雨の降る程泣いて〳〵、涙の川に溺れてしまうのであるまいかと心配さるゝ位、拙者落落主の若殿、この噂を聞かれてゾットし給ひ、誘はれ給ひし涙が一滴、是ぞ戀の水上思ひの泉、以來月にも花にも嗟嘆の御聲許り、今日御兩親と相談の上參上致したる次第、何卒この戀成就させて下さいと頭を下げた。氣高く美しき顏貌の寫眞を見て、爪先までポットする樣な戀心を覺ひたが、あの書き置の事を思ひ出しはつきり斷つた。それから二三度局長樣が來られたが、そのつどすげなく斷つて遣つた。若殿の優しい心は戀の惱みに堪え兼ねてとう〳〵臨終の日が來た朝の事である。

共同便所内の胎兒遺棄

石城郡内郷村の宮澤地内磐炭長屋の共同便所に六ヶ月位の男の胎兒が糞尿にまみれてゐるのを去る十六日肥酌みに來た同地齋藤信助が發見届出により平署に於て犯人嚴探中であつたが右は宮澤の木村長屋居住鈴木いく（四三）が腹部を打つて十三日午後九時頃便所内に流産したものと判つた

木賃宿で卅圓

北海道小樽市生れ大工職沼津傳次（二八）は昨十七日午後六時頃石城郡四倉町字街頭木賃宿若松屋事千代木うめ方から現金三十圓を窃取逃走したので四倉署の嚴探中である

蓄音器と八十五枚のレコード泥

石城郡内郷村の高坂字御殿一磐炭坑夫東白川郡石井村の中石井字廣澤五七生れ前科三犯佐川直治（四〇）は去る十月十七日午後十時頃同地若長衛方に忍び入り價二十圓の蓄音器並にレコード八十五枚價四十二圓を窃取し湯本町に持ち行きて賣却せんとせるを駐在巡査に發覺檢擧取調べ中である

盜んだ自轉車で主家から逃走

石城郡好間村の下好間字一町坪四渡邊竹之助（二七）假名は東京市淺草區田中町一〇大塚辰三郎方の石工泰公先から去る十五日荒川區尾久町に所用の途次路傍にあつた所有者不詳の自轉車中古品一台を窃取逃走し郷里へ來たばかりで平署に發覺檢擧取調べ中である

窃盜講座

ドッグは犬だがドックと云へば船渠になる、ドッグ・スリープのスリープは眠ること睡眠の意であるから犬が眠つた譯だがそうではなくて假睡またはタヌキねを指してそう云ふ、

葱頭栽培法

（13）　石城分場矢ケ崎生

土寄せを行ふてから十日位を經て葉の發育繁茂を抑へ上昇養分を球の發育肥大促進に供するため葉を結球の上部で撚曲する必要がある、撚曲する場合には注意して折らないことである、誤つて折ると其の折口から新葉が發育して若返るか又は其の折口から球の腐敗を起すことがあるから注意しなければならない、斯て撚曲して倒したるものは暫らくして又葉の上部から立ち上るを以て其の場合には再び撚じ曲げることを操返すのである、大栽培に於ては勞力の節約上密播を畑の上に轉がして葉を倒伏せしめる場合がある

又生育中に抽苔する傾向あるものは早目に抽苔部を摘除しなければならない、後れて抽苔部分が長く伸長してから摘除しても球の發育を阻害し何等の効果がないものである

病害の主なるものは黑澁病赤澁病等がある、黑澁病は葉の部に白色の楕圓形または圓形の病斑を生じ次第に病斑は擴大して黃褐色となり凹み葉は乾燥して微細なる小粒點を撒生し病斑の擴大と共に葉は黃色となつて枯死する、黑澁病に類似せる病害に黑斑病があつて前者同樣大害をなすものである、以上病害の豫防法としては栽培中肥切れをしない樣に肥培管理をなし四月頃から二、三回四斗式石灰ボルドー液に黑砂糖またはカゼイン石灰を加用せるものを撒布し發病せるものは被害部を取り除き燒却または土中に深く埋沒しなければならない、

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社　特約販賣
油問屋　關内油店　磐城平　電話長16
支店　郡山市驛前通　電話長三二八
支店　茨城縣陽本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

内科、小兒科　大森醫院　醫學士　大森勇　平町南町　電話三五八番
入院應需

開院　五十嵐産婦人科醫院　醫學博士　五十嵐雄二　入院需應　平町新川町一七　電話三七〇番

債券　公債　両替　金融　多田井貿店　平町大工町　電話五九一番

内科、小兒科　外科、花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科　平町田町　高久病院　院長　醫學士　高久忠　電話五二三番

お醤油……ヤマフル　醸屋　山崎合名會社　電話　營業部一〇番　本店二七番
醤油味噌　たひら正宗　鰹節食料品
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

秋の流行洋品御案内
新柄ショール豊富陳列
ソフト帽とネクタイ多數取揃
優良毛布とパンヤ枕豊富
毛編新型子服とケープマント
ヤルツ　平四一電〇四

好評噴々　たる各種優秀藥
大衆酵母劑　カクレー（三十三日分　定價一圓五十）
強力編毒劑　スピロイン（定價二円　五回十回）
平町五丁目角　特約販賣店　山野邊藥局

スペインG・H・N元詰　ゴルフポートワイン　甘味葡萄酒　1・10
婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
（平2）　西村屋藥舗　（電3）

平町紺屋町　藤沼醫院　電五〇七番

日科療診
一、齒科　一般保存科、補綴科、組齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院　院長　日本齒科醫學士　中野惠次　日本齒科醫學士　西川誠　平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

便利で經濟な　日下家政婦會の　派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平町字田町十八番地（西村屋横町）　日下家政婦會　會長　日下すい子　電話（呼）一八九番

石炭　コークス　豆炭　平町郵便局通り　水野石炭店　電話二九九番

（磐城共濟病院）　福島縣平町電六四一
内科　院長　醫學博士　石山謙郎　（電話六四一番）
小兒科　部長　岩手醫學士　佐藤尚輔
産婦人科　部長　醫學士　黑澤廣
外科耳鼻咽喉科　部長　醫學士　大町久藏
皮膚泌尿器病科花柳病科　部長　醫學士　前澤正（電話一七二番）
X線療物科　醫學博士　石山謙郎
技術員　石本孝彦
藥劑師　吉平
事務長　鈴木寶雄
（毎日午前八時より午後十時迄診療）
…病室完備　…入院隨意